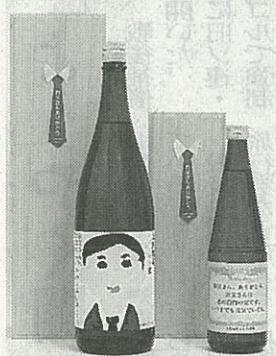


2010年(平成22年)6月17日(木曜日)

ブーケ、似顔絵ラベル、手ぬぐい付き

父の日に日本酒贈ろう



県内の女子大生100人に「父の日に贈りたい物」を調査したのは尾畠酒造(佐渡市)。食卓を囲んで時間を共有できることで、日本酒が人気トップだった。関連して尋ねた自社のギフトプランで、花と組み合わせた商品の評判が良かつたという。

これらをもとに、娘から父への贈り物をイメージして、花と組み合わせた商品の評判が良かつたといふ。

白瀧酒造(湯沢町)は、インターネット通販大手の調べから、父の日に

ジした「感謝状」ラベルの限定商品を発売(写真①)。生花を長持ちするよう加工した黄色の「ブリザーブドフラワー」の

本酒の通信販売が年末並みに売れる傾向があることにして、ホームページに父の日向けの特設コーナーを初めて開設した。

既存商品に3種類の似顔絵風ラベルを張つたり、メッセージ入りのネクタイ型の首掛けをつけたりした(同②)。3

県内蔵元独自商品競う

県内の酒造メーカーは20日の「父の日」商戦向けに、特別ラベルを張った独自のプレゼント用商品を投入している。独自調査で日本酒が父の日ギフトの一番人気だったという蔵元などが、感謝の気持ちを表すアレンジを加えた。

千円の売れ筋を中心、幅広く品ぞろえなど4社は染物屋と連携し、包装紙の代わりに各社オリジナルの手ぬ

ぎを製作(同③)。錦鯉や闘牛といった地元の名物を絵柄に使うなど

デザイン性が高く、包みに使った後も手ぬぐいと

遊び心から、小学生が父の日に描く温かみの手ぬぐいをビントにした。すでに年末の受注を上回った」と手応えを語る。

高の井酒造(小千谷市)には日本酒好きな人が多い。手ぬぐいを話題にお酌して、日ごろの労をねぎらって」と話した。

高の井酒造は「団塊世代には日本酒好きな人が多い。手ぬぐいを話題にお酌して、日ごろの労をねぎらって」と話した。